



授業で地元特産を探求 ~女性部食農教育活動~

藤里小学校の4年生児童18名は、「総合的な学習」の時間で、地元で栽培されている「クレソン」の栽培方法や調理法を探求することとし、女性部藤里支部（藤原京子支部長）が、食農教育活動の一環として、「クレソン」の調理方法を指導する先生役として招かれ、10月18日に調理実習が行われました。

「クレソン」はきれいな水でしか育たず、藤里町では白神山地の麓のきれいな沢水や湧き水で天然のクレソンも自生しており、児童らは9月に「クレソン」の栽培現場を訪問し、生産方法や販売方法について学びました。

調理実習では、女性部藤里支部員4名が先生役として、「クレソンのハム巻き」「クレソン入りサラダ」「クレソンのおひたし」「クレソンとベーコンの炒めもの」の4品を調理しました。

「自宅では、きりたんぼ鍋に入れて食べてるよ。」と教えてくれる児童もいました。

今回は、藤里小学校の栄養教諭も参加し、児童らの反応を伺い今後の学校給食への使用を検討するとのことでした。



作業分担し手際よく調理しました。



味見が調理実習の醍醐味!?

年に一度の町民祭は大盛り上がり



藤里町の文化と収穫を楽しむ、2019町民祭が10月26日と27日の2日間にわたって開催され、町内外から多くの人々が来場し大盛況。

女性部藤里支部では、「しゃかしゃかおにぎり作り体験ブース」を設けました。紙コップの中に新米を入れてそれを二つ重ね、バーテンドーのようにしゃかしゃか振るとあっという間におにぎりの完成。手を汚さず簡単に出来るおにぎりに、体験した子どもたちは、「おうちでもやってみる」と嬉しそうに話してくれました。

お昼時には「カボチャのスープ」と「さつまいもと枝豆、塩こんぶの混ぜご飯」を250食用意して無料配布。ブースの前にはおいしい匂いに誘われて長蛇の列ができ、あっという間に品切れとなりました。女性部員らは、来場者の方々と談笑し交流を深めました。

料理を食べた方からは「とてもおいしかったです。レシピをもらったので家でも作ってみます。」と話してくれました。

